学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
工　業	課題研究	4	3	なし

使用教科書	副読本等
なし	梅田出版 「第二種電気工事士 筆記試験 合格テキスト」

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
必要があれば、その都度連絡			○					○

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・前半は電気工事士資格の取得に向けた取り組みを行います。
・後半は班分けをおこない、少人数グループで各テーマの課題研究・製作に取り組みます。
・グループ内で役割分担を決め、互いにコミュニケーションをとりながら研究・製作をすすめていきます。

2．学習の到達目標

工業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	工業に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	工業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	工業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 6月	１．職業資格の取得 電気工事士資格の取得をめざす	・資格概要研究調査 ・筆記試験対策学習 ・技能試験対策演習	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ 	a．資格取得に向けて、意欲的に取り組んでいる。 b．課題解決に向けて自ら考え、目的に応じた手段を判断できる。 c．資格取得に向けた取り組みを計画し、実行することができる。 d．試験範囲の内容を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 自己評価・相互評価 等
7月 ～ 8月	２．テーマ設定	・作品製作のテーマを決める ＜テーマ例＞ ・ロボット制御 ・Ｗｅｂ技術 ・情報技術活用	○	○	○	○	a．テーマ設定に向けて、意欲的に取り組んでいる。 b．さまざまな課題の中からテーマとして適切なものを判断できる。 c．課題解決に向けた取り組みを計画し、実行することができる。 d．試験範囲の内容を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価・相互評価 等
9月 ～ 12月	３．調査・製作	・情報収集 ・技術研究、演習 ・製作	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	a．課題解決（作品完成）に向けて、意欲的に取り組んでいる。 b．課題解決に向けてすべき事を自ら考え、手順や工程等を適切に設定することができる。 c．課題解決に向け、知識・技能を身に付けるとともに、合理的に計画することができる。 d．課題に関する専門的な知識を身に付けるとともに、それらの意義や役割を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 自己評価・相互評価 等
1月 ～ 2月	４．発表・まとめ	・情報整理 ・資料作成	○ ○	○ ○	 ○	○ 	a．発表に向けた取り組み(資料作成等)に意欲的に取り組んでいる。 b．研究内容をまとめ、発表する内容を適切に設定することができる。 c．相手に伝わる資料の作成や研究内容の説明ができる。 d．発表に関する基本知識を身に付け、そのらの意義を理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 自己評価・相互評価 等